

2024年7月 神戸から季節の便り 2024.7.15. Mutsu Nakanishi From Kobe

梅雨明けもまじかですが、いかがお過ごしでしょうか
酷暑と突然の局所豪雨 お見舞い
厳しい暑さと局地的な集中豪雨が続いています。
どうか 体調変化と突然の気象変化にご留意ください

ぐずぐずしている間にコンチキチンと祇園ばやしが聞こえる時節に
厳しい暑さの清涼剤になればと
まだHP更新作業中の写真から梅雨時の風景色の写真を送ります。



夏川草介著「スピノザの診察室」 概要
現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは、「お医者さんの話やけど、随所に「京都の和菓子や街の様子が出てきて、みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、淡々と語られてゆく。ほとんど会話で構成されていて、状況が生きて語られる。言葉一つ一つに つい引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、示唆に富んだ言葉が随所からずっと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「勇気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「教習」を -ニーパーの祈りより-

God be with You!!

いつも頭の隅にあるこの言葉とともに、梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。ありがとうございます。



梅雨明けが待ち遠しい時節、いかがお過ごしでしょうか
酷暑と突然の局所豪雨など厳しい梅雨のお見舞い
厳しい暑さと局地的な集中豪雨が続いています。
どうか 体調変化と突然の気象変化にご留意ください。

昨日朝 本年最初の庭の朝顔が咲きました。

また、60余年前の記憶を浮かび上がらせてくれた京都walk
京都加茂川柵野堰堤 & 北野天満宮界限 北野名物 長五郎餅と
本年の本屋大賞4位になった夏川草介「スピノザの診察室」のこと等々

持ち帰って食べた「長五郎餅」の味

北野名物として長く受け継がれてきた味 こんなに柔らかくそして餡とのバランスもよし。。

また一つ覚えた京の味

そして「スピノザの診察室」の本も 老いゆく私には、ずっと入ってくる内容で
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。

北野の天神さんそして千本中立売商店街の通り抜けも久しぶり
学生時代の懐かしい記憶を呼び起こしてくれました

ぐずぐずしている間にコンチキチンと祇園ばやし聞こえる時節に
厳しい暑さの清涼剤になればとまだHP更新作業中の写真から
梅雨時の風来坊スナップ写真を送ります。

HP更新まだこれからですが、元気に過ごしています

God br with You!!

2024.7.15. From Kobe Mutsu Nakanishi

京朝顔「百々」

2024.7.14. 霧雨の朝



2024.6.21. 遅れた関西の入梅 この日大阪湾越しに見る梅雨前線の帯
日本各地・近畿では局地豪雨が伝えられましたが、神戸ではいっとき暑い青空の入梅に



須磨離宮の花菖蒲
2024.6.21.
もう盛りが過ぎて



猛烈な暑さの今年の梅雨 お見舞い申し上げます
体調変化と激変する天候にもご留意ください

涼風を呼ぶ清涼剤のお届けします

2024.7.9 From Kobe Mutsu Nakanishi



上賀茂神社 神山

60数年ぶりの記憶 2024.7.3.

背後に上賀茂神社の神山が見える懐かしい上賀茂柵野堰堤

京都で学生生活を始めた頃

連絡先になってもらって 毎月訪ねた従妹の家のすぐ横 柵野の里を流れ下る上賀茂柵野堰堤

海のない京都の街 暑い夏 この堰堤の上の河川敷プールで歓声を上げていた家族たちの記憶がある



2024.7.3. 賀茂川 柗野堰堤の下流 庄田橋から眺める柗野堰堤



2024.7.4.早朝 6時過ぎ 下鴨神社 糺の森
静かな森を散歩する人がちらほら 心地よい朝の冷気を胸いっぱい





2024.7.4.早朝
下鴨から西北の上賀茂へ向かう道で 洛北 深泥池



加茂川御園橋の東 上賀茂神社 正面 2024.7.4.



梅雨の季節 神戸便り 急激な気象変化と体調管理にご留意ください



紫陽花
梅雨時を清々しく
今を元気に
紫陽花 2024 2024.6.12.

地球温暖化の影響がますますきびしく、わが身にも振り返る時代になりました。

梅雨明けが待ち遠しい時節、いかがお過ごしでしょうか
酷暑と突然の局所豪雨など厳しい梅雨のお見舞い
厳しい暑さと局地的な集中豪雨が繰り返しています。
どうか 体調変化と突然の気象変化にご留意ください。

昨日朝 本年最初の真の朝顔が咲きました。
また、60余年前の記憶を浮かび上がらせてくれた京都walk
京都加茂川林野権限 & 北野天満宮界隈 北野名物「長五郎餅」と
本年の本屋大賞4位になった夏川華介「スピノザの城下町」のこと等々
神戸便りでは、この「長五郎餅」の作り
土曜祭典として今年も開催が予定されていますが、このパンクもよし、
夏祭りでも楽しみたいですね。
また、「スピノザの城下町」の魅力を、ぜひぜひ読んでみる内容で
梅雨時の気候を楽しんでみて下さい。
梅雨の季節は、雨の降るたびに、心の中にも、涼しい風が吹くように感じ、
梅雨時の情緒が、心の中にも、涼しい風が吹くように感じ、

ぐずぐずしている間にコンチキチンと範囲はやしが聞こえる時節に
厳しい暑さの清涼剤になればとまだHP更新作業中の写真から
梅雨時の風車坊スナップ写真を送ります。
HP更新まだこれからですが、元気に過ごしています
God br with You!!
2024.7.15. From Kobe Mutsu Nakanishi

京朝顔「百々」
2024.7.14. 霖雨の朝



梅雨前のひと時を清々しく
庭の紫陽花やサボテンの花
2024年6月



2024年6月になって田圃の水は田に入らず、まだ残りの水も、田圃の 田圃の水

6月に入って田に水が入った素晴らしい田圃の景色
2024.6.3. 北神戸 淡河の里で



梅雨前いつか 田に水が入った田圃の素晴らしい景色 北神戸 淡河の里で 2024.6.3.



休耕地の土手や道脇を埋め尽くして咲く雑草 ヒメジオン
梅雨時の晴れ間 厳しい暑さをバックに 山のお花畑を思わせる
2024.6.19. 妙法寺 車の里で



久しぶりに若草の丘から東白川台の全景がくっきりと
2024.6.19. 高取山北山腹 飛竜寺境内から



正面 菊水山に向かって 丸山の谷から鶴越を登る神戸電鉄の電車
2024.6.19. 高取山北山腹の展望所より



2024.6.21. 遅れた関西の入梅 この日大阪湾越しに見る梅雨前線の帯
日本各地・近畿では局地豪雨が伝えられました。神戸ではいっとき暑い青空の入梅に



須磨離宮の花菖蒲
2024.6.21.
もう盛りが過ぎて



猛雨な都心の今年の梅雨 お見舞い申し上げます
時局変化と激変する天候にもご留意ください
川風子呼ぶ清浄刹の森を訪ねます
2024.7.4. From Kobe. Mitsu Nakanishi



60数年ぶりの記録 2024.7.3.
背後に上賀茂神社の神山が見える懐かしい上賀茂村野球場
京都で学生生活を始めた頃
通風先になってもらって 毎月訪ねた従妹の家のすぐ横 村野の星を流れて下流に流れては
真のない京野の街 暑い夏 この橋の上の河川敷プールで歓声を上げながら泳いでいた頃の記憶がある



2024.7.3. 賀茂川 村野球場の下流 石垣橋から眺める村野球場



2024.7.4.早朝 - 6時過ぎ 下鴨神社 乱の森
静かな森を散歩する人がちらほら 心地よい朝の冷気を胸いっぱい



2024.7.4.早朝
下鴨から西北の上賀茂へ向かう道で 湯北 深沢池



加茂川御園橋の東 上賀茂神社 正面 2024.7.4.



上賀茂神社にもお参りして、賀茂川の土争に出で、再度 梓野塩場そして梓野の途中 常々細街道・梓野別荘等々 懐かしい名前にも出会えました。また、上賀茂神社境内のバスのターミナル周辺には 車の京都産大へ通う大学生の列(バスがひっきりなしに、すっかり京都の街中に溶け込んだ新しい梓野の風景)もびりですが、垣間見れました。また、「神山」への散歩道はまた次の機会に。

北野名物「長五郎餅」と「スピノザの診察室」
久しぶり 中立売通の北野商店街へ 2024.7.4.

上賀茂神社参拝を経て鴨川土手を南へ下り、次は家内が期待一杯の北野名物「長五郎餅」を求めて北野天満宮界隈へ
家内は今年の奉還大賞候補になった「スピノザの診察室」に描かれている北野天満宮前の北野名物「長五郎餅」を是非とも食べたいと今朝の京都参り行に特別の思い入れ。
今も北野神社には何度も訪れる私ですが、中立売界隈になるといつもバスや車で通過。長五郎餅の店は知らず。千本中立売から西北の北野神社へ続く北野商店街の今に興味深々。
かつては堀川通から鉄いり道をチンチン電車が通り抜けていた道筋「せんなか」学生時代の思い出一杯今どうなっているのだろうかと思いつく。

家内は本を讀んで、いっぺんに食べたくなったという。今回訪ねた京都仲間もよく知っていて、本店は天満宮前中立売商店街の街中で、よく買いに行くところ。この長五郎餅の店は長時間店からすでに多くの人が並ぶという。今日は早起き、下鴨を早朝に飛び出し、下鴨神社・上賀茂神社経由で北野神社界隈へ。商店街を巡って車を走らせ、久しぶりに千本中立売から商店街を西へ通り抜けて北野天満宮の門前へ。きょうきょう 懐かしい千中通りを西へ通り抜け。



その医師は、無類に希望の朝かりきともすー。
2019年刊、京都の歴史で今も語り継がれる「せんなか」北野名物にふれた感動の物語。
2024年 本屋大賞 ノミネート!



Photo & MAP インターネットより探検



夏川草介著「スピノザの診察室」概要
現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは。

「お医者さんの話やけど、随分「京都の和菓子や街の様子が出てきて、みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、淡々と語られてゆく。ほとんど会話を構成されていて、状況が生々しくと語られる。言葉一つ一つについて引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、示唆に富んだ言葉が随所からずつと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「勇気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を - ニーバーの祈りより -

God be with You!
いつも頭の中にあるこの言葉とともに、梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。ありがとうございます。

この書をすべてに知っておられたら、ごめんなさい。京都を舞台にして、この書が書かれたこともうれしく、家内の話を聞きつつ、主人公の一番好きな「此の名物長五郎餅」を買って、北野商店街の西端にある「長五郎餅本舗」に行ってみました。

このほか、知っていて知らなかった京都の和菓子がいくつか・・・
また、先日 今もあると驚いた「金平糖」ぜひこちらの店にも出かけたが。
2024.7.4. 帰路の車の中で 話題にしつつ Mutsu Nakanishi

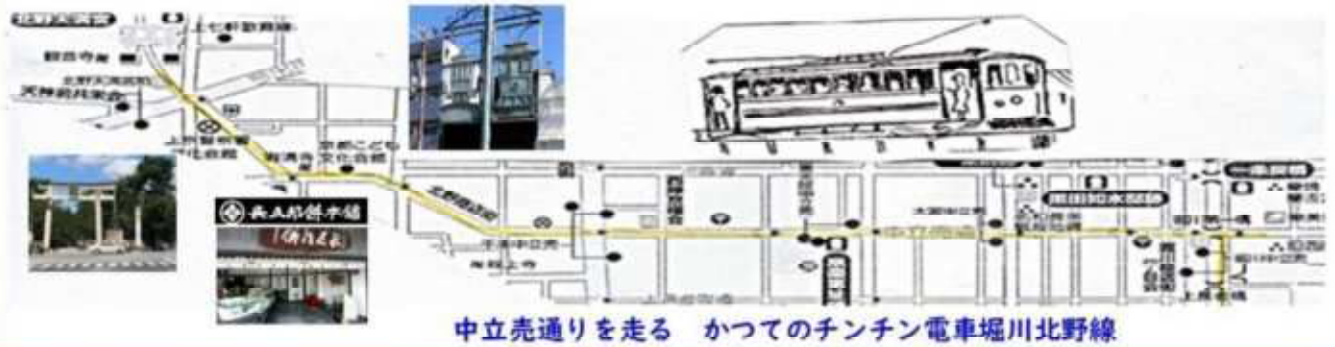


2024年朝顔帳 2024年夏

夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔
一輪一輪 違った顔を見せてくれる
ふう〜と息を吹きかけ、清々しい夏の朝を楽しむ
まだ梅雨の明けぬ今日の朝
本年初めて 一輪花を咲かせました

2024.7.14.

夏の朝を爽やかに 2024夏



中立売通りを走る かつてのチンチン電車堀川北野線



長五郎餅本舗前



← 一条通り商店街



← 左:一条通り 右:七本松通 ←



← 中立売通 北野商店街



← 中立売通 北野商店街入口



← 千本中立売交差点



哲郎は、真っ白な餅をひと口かじった。
薄く柔らかな餅皮が、
絹糸がほどけるように伸び、あとから
品のある濃し餡の甘味が広がっていく。
絶妙な風味に身をゆだねるように、
哲郎は軽く目を閉じた。

—— 本文より



持ち帰って食べた「長五郎餅」の味
北野名物として 長く受け継がれてきた味
こんなに柔らかくそして餡とのバランスもよし。
早く味わってほしいという店主の話も分かる。
翌日には少し餅皮が堅くなっていましたが、それはそれでおいしい餅でした。
また一つ覚えた京の味 そして「スピノザの診療室」の本も
老いゆく私には、ずっと入ってくる内容で
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
北野の天神さんそして千本中立売商店街の通り抜けも久しぶり
学生時代の懐かしい記憶を呼び起こしてくれました

北野名物「長五郎餅」と「スピノザの診療室」
久しぶり 中立売通の北野商店街へ 2024.7.4.

かつて 京都駅から北野の天神さんへ
チンチン電車が走っていた中立売通り
なつかしい通りに目をきょろきょろ

上賀茂神社参拝を終えて鴨川土手を南へ下り、
次は家内が期待一杯の北野名物「長五郎餅」を求めて
北野天満宮界隈へ
家内は本年の本屋大賞候補になった「スピノザの診療室」
に描かれている北野天満宮前の北野名物「長五郎餅」
を是非とも食べたいと今回の京都墓参りに特別の
思い入れ。
今も北野神社には何度も訪れる私ですが、中立売界隈に
なるといつもバスや車で通過。長五郎餅の店は知らず。
千本中立売から西北の北野神社へ続く北野商店街の今
に興味津々。
かつては堀川通から狭い通りをチンチン電車が通り抜けて
いた道筋「せんなか」学生時代の思い出一杯
今どうなっているのだろうか興味深々。

家内は本を読んで いっぺんに食べなくなったという。
今回訪ねた京都仲間も良く知っていて 本店は天満宮前
中立売商店街の街中で、よく買いに行く。
この長五郎餅の店は9時開店からすぐに多くの人が並ぶ
という。今日は早起き 下鴨を早朝に飛び出し、
下鴨神社・上賀茂神社経由で北野神社界隈へ
開店早々を狙って車を走らせ、久しぶりに千本中立売から
商店街を西へ通り抜けて北野天満宮の門前へ
きょろきょろ 懐かしい千中通りを西へ通り抜け。

スピノザの診療室
夏川草介

その医師は、最期に希望の明かりをとまず――。
20年間、医療の最前線で命と向き合い続けた著者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

2024年
本屋大賞
ノミネート!

売りたい本
いちばん！

2024年本屋大賞
各界から絶賛の声続々！(書庫もご覧ください)

北野名物「長五郎餅」
哲郎は、真っ白な餅をひと口かじった。
薄く柔らかな餅皮が、絹糸がほどけるように伸び、
あとから品のある渡し餡の甘味が広がっていく。
絶妙な風味に身をゆだねるように、
哲郎は軽く目を閉じた。
「スピノザの診療室」より



一条通 旧北野車庫跡京都子供会館に並んで建つ長五郎餅本舗本店



Photo & MAP インターネットより採録

夏川草介著「スピノザの診察室」 概要

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは。

「お医者さんの話やけど、
随所に「京都の和菓子や街の様子が出てきて、
みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、
淡々と語られてゆく。
ほとんど会話で構成されていて、状況が生き生きと語られる。
言葉一つ一つに つい引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、
示唆に富んだ言葉が随所からずっと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「勇気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を - ニーバーの祈りより -

God be with You!!

いつも頭の隅にあるこの言葉とともに、
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
ありがとう。

この書をすでに知っておられたら、ごめんなさい。
京都を舞台にして この書が書かれたこともうれしく、
家内の話を聞きつつ、主人公の一番好きな「北の名物
長五郎餅」を買いに、北野商店街の西端にある「長五郎餅本舗」
に行ってきました。

このほか、知っていて知らなかった京都の和菓子がいくつか・・・
また、先日 今もあると驚いた「金平糖」ぜひこちらの店にも出かけた。

2024.7.4. 帰路の車の中で 話題にしつつ Mutsu Nakanishi



その医師は、最期に希望の明かりをとまず――。
20年間、医療の最前線で命と向き合い続けた著者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

2024年

本屋大賞
ノミネート!



各界から絶賛の声続々! (涙もこぼれたい)

2024年7月 神戸から季節の便り 2024.7.15. Mutsu Nakanishi From Kobe

梅雨明けもまだですが、いかがお過ごしでしょうか
酷暑と突然の局部豪雨 お見舞い
暑い暑々と局地的な集中豪雨が降っています。
どうか 体調変化と突然の気象変化にご留意ください

ぐずぐずしている間にコンチキチンと桃園ばやし
開こえる時期に
新しい著書の出版前になればと
まだHP更新作業中の写真から梅雨時の重層色の写真を
送ります。



夏川草介著「スピノザの診察室」 概要

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、
「人の幸せ」とは。
「お医者さんの話やけど、
随所に「京都の和菓子や街の様子が出てきて、
みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、
淡々と語られてゆく。
ほとんど会話で構成されていて、状況が生き生きと語られる。
言葉一つ一つに つい引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、
示唆に富んだ言葉が随所からずっと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「勇気」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を - ニーバーの祈りより -

God be with You!!

いつも頭の隅にあるこの言葉とともに、
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
ありがとう。



その医師は、最期に希望の明かりをとまず――。
20年間、医療の最前線で命と向き合い続けた著者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

2024年

本屋大賞
ノミネート!



各界から絶賛の声続々! (涙もこぼれたい)

夏川草介著「スピノザの診察室」 概要

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは。

「お医者さんの話やけど、
随所に「京都の和菓子や街の様子が出てきて、
みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、
淡々と語られてゆく。
ほとんど会話で構成されていて、状況が生き生きと語られる。
言葉一つ一つに つい引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、
示唆に富んだ言葉が随所からすっと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「**勇氣**」
変えられないものを受け容れる「**心の静けさ**」
両者を見分ける「**叡智**」を - ニーバーの祈りより -

God be with You!!

いつも頭の隅にあるこの言葉とともに、
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
ありがとう。

この書をすでに知っておられたら、ごめんなさい。
京都を舞台にして この書が書かれたこともうれしく、
家内の話を聞きつつ、主人公の一番好きな「北の名物
長五郎餅」を買いに、北野商店街の西端にある「長五郎餅本舗」
に行ってきました。

このほか、知っていて知らなかった京都の和菓子がいくつか・・・
また、先日 今もあると驚いた「金平糖」ぜひこちらの店にも出かけた。

2024.7.4. 帰路の車の中で 話題にしつつ Mutsu Nakanishi



2024年朝顔帳 2024年夏

夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔
一輪一輪 違った顔を見せてくれる
ふう〜と息を吹きかけ、清々しい夏の朝を楽しむ
まだ梅雨の明けぬ今日の朝
本年初めて 一輪花を咲かせました

2024.7.14.

夏の朝を爽やかに 2024夏



鉢植えの京朝顔「百々」

2024.7.14. 霧雨の朝

本年初めての朝顔が咲きました



京朝顔「百々」

2024.7.14. 霧雨の朝



2024.7.14. 霧雨の朝
本年初めて 庭の朝顔が咲きました



京朝顔「百々」
2024.7.14. 霧雨の朝



久しぶりに若草の丘から東白川台の全景がくっきりと
2024.6.19. 高取山北山腹 飛竜寺境内から



正面 菊水山に向かって 丸山の谷から鶴越を登る神戸電鉄の電車
2024.6.19. 高取山北山腹の展望所より



酷暑が続く今年の夏
お互い体調変化に気をつけて
急変する天候にもぬかりなく
今日も一日 Good Day!! と

From Kobe Mutsu Nakanishi
2024.7.14. 霧雨の朝
本年初めての朝顔が咲きました

梅雨明けが待ち遠しい時節、いかがお過ごしでしょうか
酷暑と突然の局所豪雨など厳しい梅雨のお見舞い
厳しい暑さと局地的な集中豪雨が続いています。
どうか 体調変化と突然の気象変化にご留意ください。

昨日朝 本年最初の庭の朝顔が咲きました。

また、60余年前の記憶を浮かび上がらせてくれた京都walk
京都加茂川柵野堰堤 & 北野天満宮界限 北野名物 長五郎餅と
本年の本屋大賞4位になった夏川草介「スピノザの診療室」のこと等々

持ち帰って食べた「長五郎餅」の味

北野名物として長く受け継がれてきた味 こんなに柔らかくそして餡とのバランスもよし。

また一つ覚えた京の味

そして「スピノザの診療室」の本も 若い頃私には、すっとうってくる内容で

梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。

北野の天神さんそして千本中並売商店街の通り抜けも久しぶり

学生時代の懐かしい記憶を呼び起こしてくれました

ぐずぐずしている間にコンチキチンと祇園ばやしが聞こえる時節に
厳しい暑さの清涼剤になればとまだHP更新作業中の写真から
梅雨時の風来坊スナップ写真を送ります。

HP更新まだこれからですが、元気に過ごしています

God br with You!!

2024.7.15. From Kobe Mutsu Nakanishi

京朝顔「百々」

2024.7.14. 霧雨の朝

北野名物「長五郎餅」と「スピノザの診療室」
久しぶり 中立売通の北野商店街へ 2024.7.4.

かつて 京都駅から北野の天神さんへ
チンチン電車が走っていた中立売通り
なつかしい通りに目をきょろきょろ

上賀茂神社参拝を終えて鴨川土手を南へ下り、
次は家内が期待一杯の北野名物「長五郎餅」を求めて
北野天満宮界隈へ
家内は本年の本屋大賞候補になった「スピノザの診療室」
に描かれている北野天満宮前の北野名物「長五郎餅」
を是非とも食べたいと今回の京都墓参りに特別の
思い入れ。
今も北野神社には何度も訪れる私ですが、中立売界隈に
なるといつもバスや車で通過。長五郎餅の店は知らず。
千本中立売から西北の北野神社へ続く北野商店街の今
に興味津々。
かつては堀川通から狭い通りをチンチン電車が通り抜けて
いた道筋「せんなか」学生時代の思い出一杯
今どうなっているのだろうか興味深々。

家内は本を読んで いっぺんに食べなくなったという。
今回訪ねた京都仲間も良く知っていて 本店は天満宮前
中立売商店街の街中で、よく買いに行く。
この長五郎餅の店は9時開店からすぐに多くの人が並ぶ
という。今日は早起き 下鴨を早朝に飛び出し、
下鴨神社・上賀茂神社経由で北野神社界隈へ
開店早々を狙って車を走らせ、久しぶりに千本中立売から
商店街を西へ通り抜けて北野天満宮の門前へ
きょろきょろ 懐かしい千中通りを西へ通り抜け。

スピノザの診療室
夏川草介

その医師は、最期に希望の明かりをとまず――。
20年間、医療の最前線で命と向き合い続けた著者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

2024年
本屋大賞
ノミネート!

売りたい本
いちばん！
読者の声
2024年本屋大賞

各界から絶賛の声続々！(読者もご購入ください)

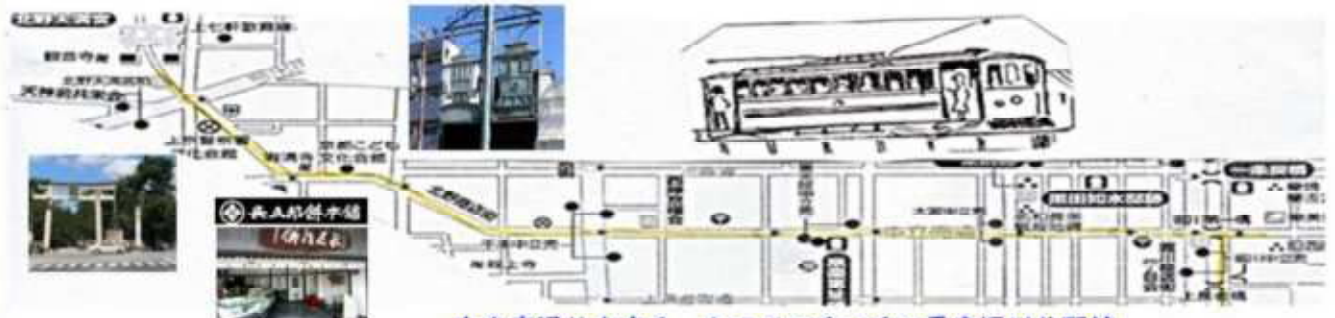
北野名物「長五郎餅」
哲郎は、真っ白な餅をひと口かじった。
薄く柔らかな餅皮が、絹糸がほどけるように伸び、
あとから品のある渡し餡の甘味が広がっていく。
絶妙な風味に身をゆだねるように、
哲郎は軽く目を閉じた。
「スピノザの診療室」より



一条通 旧北野車庫跡京都子供会館に並んで建つ長五郎餅本舗本店



Photo & MAP インターネットより採録



中立売通りを走る かつてのチンチン電車堀川北野線



長五郎餅本舗前



← 一条通り商店街



← 左:一条通り 右:七本松通 ←



← 中立売通 北野商店街



← 中立売通 北野商店街入口



← 千本中立売交差点



哲郎は、真っ白な餅をひと口かじった。
薄く柔らかな餅皮が、
絹糸がほどけるように伸び、あとから
品のある濃し餡の甘味が広がっていく。
絶妙な風味に身をゆだねるように、
哲郎は軽く目を閉じた。
—— 本文より



持ち帰って食べた「長五郎餅」の味
北野名物として 長く受け継がれてきた味
こんなに柔らかくそして餡とのバランスもよし。
早く味わってほしいという店主の話も分かる。
翌日には少し餅皮が堅くなっていましたが、それはそれでおいしい餅でした。
また一つ覚えた京の味 そして「スピノザの診療室」の本も
老いゆく私には、ずっと入ってくる内容で
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
北野の天神さんそして千本中立売商店街の通り抜けも久しぶり
学生時代の懐かしい記憶を呼び起こしてくれました

夏川草介著「スピノザの診察室」 概要

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは。

「お医者さんの話やけど、
随所に「京都の和菓子や街の様子が出てきて、
みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、
淡々と語られてゆく。
ほとんど会話で構成されていて、状況が生き生きと語られる。
言葉一つ一つに つい引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、
示唆に富んだ言葉が随所からずっと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「**勇氣**」
変えられないものを受け容れる「**心の静けさ**」
両者を見分ける「**叡智**」を -ニーパーの祈りより-

God be with You!!

いつも頭の隅にあるこの言葉とともに、
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
ありがとう。

この書をすでに知っておられたら、ごめんなさい。
京都を舞台にして この書が書かれたこともうれしく、
家内の話を聞きつつ、主人公の一番好きな「北の名物
長五郎餅」を買いに、北野商店街の西端にある「長五郎餅本舗」
に行ってきました。

このほか、知っていて知らなかった京都の和菓子がいくつか・・・
また、先日 今もあると驚いた「金平糖」ぜひこちらの店にも出かけた。

2024.7.4. 帰路の車の中で 話題にしつつ Mutsu Nakanishi



その医師は、最期に希望の明かりをとます――。
20年間、医療の最前線で命と向き合い続けた著者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

2024年

本屋大賞
ノミネート!



各界から絶賛の声続々! (涙もこぼれたい)

2024年7月 神戸から季節の便り 2024.7.15. Mutsu Nakanishi From Kobe

梅雨明けもまだですが、いかがお過ごしでしょうか
酷暑と突然の局所豪雨 お見舞い
暑い暑々と局所的な集中豪雨が降っています。
どうか 体調変化と突然の気象変化にご留意ください

ぐずぐずしている間にコンチキチンと桃園ばやし
聞こえる時期に
新しい着せの涼涼刺になればと
まだHP更新作業中の写真から梅雨時の重層色の写真を
送ります。



夏川草介著「スピノザの診察室」 概要

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは。
「お医者さんの話やけど、
随所に「京都の和菓子や街の様子が出てきて、
みんな食べたくなる」と家内に教えてもらって読みました。

内容は老いゆく患者たちが向き合う厳しい医療現場の話が、
淡々と語られてゆく。
ほとんど会話で構成されていて、状況が生き生きと語られる。
言葉一つ一つに つい引き込まれ、一機に読みました。

老いと直面している今、医療知識の乏しい私にとって、
示唆に富んだ言葉が随所からずっと入ってきて、清々しい。

変えられるものを変える「**勇氣**」
変えられないものを受け容れる「**心の静けさ**」
両者を見分ける「**叡智**」を -ニーパーの祈りより-

God be with You!!

いつも頭の隅にあるこの言葉とともに、
梅雨時の気持ちを清々しくしてくれました。
ありがとう。



その医師は、最期に希望の明かりをとます――。
20年間、医療の最前線で命と向き合い続けた著者が描く、
祈りと希望にあふれた感動の物語。

2024年

本屋大賞
ノミネート!



各界から絶賛の声続々! (涙もこぼれたい)